

みずほCustomer Desk Report 2016/10/27 号(As of 2016/10/26)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	104.17 AUD/USD
TKY 9:00AM	104.17	1.0886	113.38	0.9948	1.2177	0.7649
SYD-NY High	104.62	1.0947	114.19	0.9958	1.2250	0.7709
SYD-NY Low	104.02	1.0875	113.28	0.9904	1.2156	0.7627
NY 5:00 PM	104.48	1.0908	113.95	0.9936	1.2245	0.7650
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	9.43/9.78		25RR	1.123	Yen Call Over	
NY DOW	18,199.33	30.06	債券市場	日本2年債	-0.2490	0.1bp
NASDAQ	5,250.27	▲ 33.13		日本10年債	-0.0640	0.1bp
S&P	2,139.43	▲ 3.73		米国2年債	0.8685	1.6bp
日経平均	17,391.84	26.59		米国5年債	1.3040	3.0bp
TOPIX	1,382.70	5.38		米国10年債	1.7931	3.7bp
シカゴ日経先物	17,385	5.00	為替市況	独10年債	0.0850	5.5bp
ロンドンFT	6,958.09	▲59.55		英10年債	1.1520	6.3bp
DAX	10,709.68	▲47.63		豪10年債	2.2640	▲1.2bp
ハンセン指数	23,325.43	▲ 239.68		USD/CNH	6.7847	0.0091
上海総合	3,116.31	▲ 15.63		ドルインデックス	98.61	▲0.11
USDJPY 3M Vol	10.16	0.19%	商品市況	CRB指数	188.720	▲0.63
USDJPY 6M Vol	10.48	0.23%		NY金	1,266.600	▲7.00
EURJPY 3M Vol	10.49	0.02%		WTI	49.180	▲0.78
EURJPY 6M Vol	11.00	0.06%		Dubai Spot	46.16	▲1.65

東京	東京時間のドル円は104.17レベルでオープン。朝方発表された豪第3四半期CPIの結果が予想を上回ったことでRBAによる利下げ期待が後退して豪ドル買いドル売りが進む中、ドル円の上値は抑えられ、安値104.02をつける。しかし、その後は安寄りした日経平均株価が下げ幅を縮小させると、ドル円はじりじりと上昇し104.38の東京時間高値をつけた。午後に入ると日経平均株価は前日比プラス圏まで上昇したものの、ここではドル円は連れ高とはならず、104.30を挟んだレンジ推移となる。新規材料に欠ける中、104円半ばからは実需によるドル売りが待ち構えているとの見方もあり、上値は抑えられた。引けに掛けても104.30を挟んだ展開が継続し、結局ドル円は104.23レベルにて海外に渡った。(東京時間15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は104.23レベルでオープン。午前は原油安・株安を受け、小幅ドル安の動き。しかし、引き続き12月の米利上げ動向に市場の注目が集まっている環境下、特段の新規材料はなく、結局オープン水準と変わらず104.27レベルでNYへ渡った。ポンドドルは1.2171レベルでオープン。英中銀の早期追加利下げ期待が後退して上昇する動きとなり、1.2216レベルでNYへ渡った。
ニューヨーク	ドル円は104.27レベルでNYオープン。朝方発表された米10月マーズ・サービス業PMIは予想を上回ったものの、その後発表された同9月新築住宅販売件数が予想を下回ったこともあり、市場への影響は限定的。しかしその後、前日の議会証言で英中銀カーニー総裁が「ポンド下落によるインフレ上昇の許容も限度がある」と発言していたことで、利下げに偏っていた市場ではポジション調整の動きが入り、欧州債利回りが全面高となる展開に、米10債利回りも1.80台付近まで上昇。これを受けてドル円は一時104.62の高値まで上昇した。但し、対ドルでポンドが買い戻されたことや、タリ平均がプラス幅を縮小したことなどからドル円は104.43まで反落し、104.48レベルで海外市場に渡った。一方ユーロドルは海外市場でじり高の推移となり、1.0922レベルでNYオープン。カーニー総裁の発言を受けた欧州債利回りの上昇に後押しされユーロドルは一時1.0947まで上昇。しかしECBによるテーラリングの見方が不透明な中、積極的に上値を追っていく展開とはならず、1.0900まで下落し、1.0908レベルで海外市場に渡った。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断なさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 田中・坂本

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
10月26日	09:30	豪 CPI(前期比/前年比)	3Q 0.7%/1.3%	0.5%/1.1%
	15:00	GfK消費者信頼感	11月 9.7	10.0
	17:30	BBA住宅ローン承認件数	9月 38,252	37,350
	20:00	MBA住宅ローン申請指数	- -4.1%	-
	21:30	卸売在庫(前月比)・速報	9月 0.2%	0.1%
	22:45	マークイットPMI(サービス業/総合)・速報	10月 54.8/54.9	52.5/-
	23:00	新築住宅販売件数	9月 593K	600K

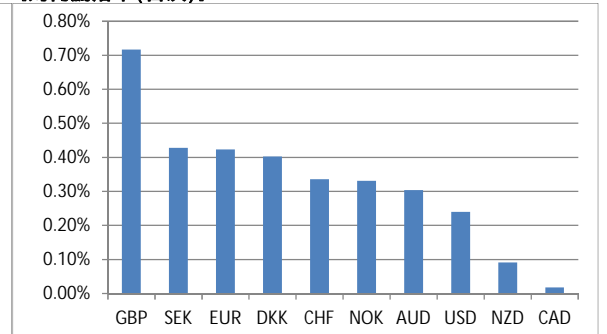
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前週
10月27日	08:50	対外対内証券投資	-	-
	17:30	GDP(前期比/前年比)・一次速報	3Q 0.3%/2.1%	0.7%/2.1%
	21:30	耐久財受注(前月比)・速報	9月 0.0%	0.1%
	21:30	耐久財受注(除輸送用機器・前月比)・速報	9月 0.2%	-0.2%
	21:30	新規失業保険申請件数	- 255K	260K

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	104.00 - 104.80	1.0850 - 1.0950	113.50 - 114.80

【マーケットインプレッション】

昨日の海外市場でのドル/円はじり高の展開。欧州時間にて104円台前半で推移していたドル/円は、北米時間に入ると堅調な米国経済指標の結果や米10年債利回りの上昇、NYダウの底堅さを横目に一時104.62まで上昇。その後も底堅く推移し104円台半ばで海外市場を終えた。本日のドル/円は104円台半ばでの揉みあい相場を予想する。本日は米新規失業保険申請件数等の発表があるものの、来週以降には日銀政策決定会合や米FOMC、米10月雇用統計、米大統領選挙等の大きなイベントが控えており、材料不足感は否めず、ドル円は方向感のない推移となりそうだ。